

保護者等からの事業所評価の集計結果 【公表】

公表： 2024年3月27日

事業所名：さわらび園

保護者等数（児童数）30(30) 回収数 20 割合 66.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを増やして欲しい。 ・十分な設備があるが、屋外での活動が増えると嬉しい。 ・園庭があるととっても良い。 ・園庭がないので隣や周辺の公園も利用しているが、不特定多数の人が利用するので、特性がある子にとって安全なのか心配がある。 ・人数によっては室内が狭く感じる。 ・可能であれば、母子療育でお天気がいいときは、隣のどんぐり広場や歩行訓練でお外に出る機会がもっと増えると、外出の練習になるので嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内での活動スペースは、活動内容に応じて部屋を移動したり、母子療育日には広いスペースで活動するなどの工夫をしています。 ・戸外活動については、クラスの子どもたちの状況を踏まえて、学期の活動内容や目標に応じて取り入れています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・心理士や言語聴覚士、作業療法士の専門資格のある方が在籍していると、子供にとってさらに心強い。 ・日によって手薄に感じる。 ・いつも細やかに子ども達を見てくださり、本当に感謝しかありません。 ・若い先生が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国（市）で定められた基準を満たした職員配置にはなっていますが、出張（研修）や病欠などの際は、フォローの体制を組んで行うようにしています。 ・訓練に関する専門職の配置はありませんので、療育センターの専門職の方と連携をとり、支援に繋がっています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	2	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやクラスの状況を踏まえて、本人にわかりやすいような環境づくりを引き続き意識していきたいと思っています。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレなどいつも綺麗で大変ありがたい。 ・教室トイレなど、毎日とても清潔に掃除してくれている。 ・毎朝と下校後に先生方が掃除してください。感謝しています。 ・床に給食やおやつを食べこぼし等があるのが気になる。 ・寒い暑い。 ・母子療育の際に数分でも、子供と一緒にロッカーのそうじと一緒に取り組むのもいいのではないかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園前と降園後に、職員で清掃を行っています。玩具等の消毒も行い、清潔な環境提供を心がけています。 ・感染予防の観点から、換気で窓を開けたり、空気清浄機などを設置しています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の方針について、保護者がどうしていきたいかを確認した上で支援計画を立ててくださっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを聞きながら、日々の療育場面での子どもの姿を保護者に具体的に(療育説明、日々の記録等)伝え、それを元に計画に反映しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画の作成については、園内で会議を開き、個々の子どもの支援について確認した上で、計画を作成しています。支援内容については、保護者にもわかりやすいように、具体的に記載するように心がけています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子ども個々の課題を職員で共有しながら、丁寧な支援を行っていくよう努めます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	17	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭がないので外での活動がほとんど無い。 ・安全に遊べる園庭があるといいと思う。 ・玩具の提供が偏っているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や目的によってあえてプログラムを固定したり変化をつけたりという工夫をしています。 ・子どもやクラスの状況によって、プログラムの内容を工夫していくと共に、その目的や意図を療育説明等で伝えていくよう努めます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・健常児との関わりが全くないので、園を通じてそのような機会が持てるとありがたい。 ・学生(障害研修)と交流はある。 ・健常児とのふれあいがもう少しあると、いい刺激になるのではないかなと思う。ただ、特性によっては配慮が必要なこともあるので、難しいのかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流保育は、コロナ前までは、近隣の保育園と交流保育を行い、その様子を保護者にビデオを通してフィードバックをしていました。 ・次年度以降については、交流先の園と調整を行い、再開を検討しています。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	3	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・さわらび園の通園にかかわることや費用等についての説明は、入園面接の際に行っています。

保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	2	0	1	児童発達支援ガイドラインに示されるねらい及び支援内容に基づき、当園での療育の目的については、園の見学時や入園面接時にも改めてお伝えしています。その上で個々の状況によって児童発達支援計画を作成し、保護者に説明、確認をしていただいています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。 ※さわらび園では、グループカウンセリング	18	2	0	0	母子療育や研修、カウンセリングを熱心に行なってくださっている。 ・さわらび園では、家族支援プログラムの一環として、母親グループカウンセリングを実施しています。また必要に応じて、随時、個別相談の機会も設けています。また、母親研修会を年10回開催しています。 ・父親については、春には父親参観日、秋には父親研修会、また、懇親会等の機会を設けています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	17	2	1	0	・以前トラブルが起こった時に、園から具体的な事実確認や報告がなく、後日こちらから問い合わせをした初めて内容を知ったことがあった為、有事の際の初動が遅いと感じる。 ・担当の先生方と話す機会がとても多いので情報共有がし易い。単独で通う日も報告書で様子を伝えてくれている。 ・あまり時間が取れていないように感じる。 ・母子療育の際に、子どもの状況を一緒に観て話し合いながら共有するように努めています。共有したことを、職員間でも共有するようにしています。 ・保護者の方と日頃から話し合える環境づくりを改めて意識していきたいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	3	0	0	⑬と同じ 若干少なく感じる。 ・特に母子療育の時間には、子どもの姿を実際に観ながら助言したり、お母さんの話を聴くようにしています。また、⑫でも挙げたように、必要に応じて個別面談の時間を設けています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	1	0	0	・年次が上がってから父親の交流も増え、夫に子供や園の話が伝わりやすくなった。夫自身も他の保護者とのつながりができて園の活動に行きやすくなったと感じていると思う。 ・支援はされているが、どこまでが任意なのか曖昧なところもあり(例として、会費は払うが活動は参加できない又はしない保護者の方のみえた場合の対応等)保護者の間での不公平の声が聞こえることがあった。 ・保護者会の総会、役員会などを通じて活動内容の把握や支援をしています。また、その都度行事ごとに相談に乗りながら、活動の支援をしています。 今後も役員の方を中心に、運営や活動については相談に乗りながらフォローしていきたいと思えます。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	0	0	カウンセリングで相談したことなどは担任の先生へ伝達されているのではないかと感じる。	・相談や申し入れがあった際には、確認をして、必ず対応するようにしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達ための配慮がなされているか	17	3	0	0		・保護者には、カウンセリングの時間や、帰りの送迎時に連絡事項等を伝えるようにしています。連絡内容によっては、一部メールなどのツールの使用もしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	2	0	0	情報の発信はされているが、行事の予定が出るのが遅いので予定を立てにくい。	・行事予定等は上記に加え、各クラスに掲示をしています。 ・毎月発行している法人の機関誌の配布やホームページの開設をしています。また、自己評価結果はホームページに公表しています。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	0	0	0	・個人情報関係で、年長卒業アルバムがないのが寂しい。 ・写真について、個人情報ではあるが、撮影及び使用目的が園と親の会では異なる為、それぞれから改めて説明があるとよいと思う。	・写真等の個人情報を使用する際は、事前に保護者に声をかけ、許可をいただくことを徹底しています。 ・写真撮影については、今年度、保護者の療育参加を前提として、改めてお伝えさせていただきました。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	2	0	0	防犯マニュアルについてはあまり聞いたことがなかった。	・防犯訓練については、職員間での確認および想定訓練は行っています。子どもも含めての防犯訓練については、今後の検討課題としていきたいと思っています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	0	0	0		・月1回、火災や地震等の様々な想定をした避難訓練をしています。 ・大きな地震が発生した想定での広域避難所への避難訓練や経路確認を年2回行っています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	15	4	0	1		・子どもたちが安心して過ごせる場所になっていくよう、引き続きプログラムの工夫や丁寧なかかわりを意識していきたいと思っています。 ・保護者の方にも安心して子どもと通所していただけるよう、信頼関係を構築していきたいと思っています。

事業所における自己評価結果 【公表】

公表： 2024年3月27日

事業所名：さわらび園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1	・参加人数にあわせて、部屋のパーティションを開閉してスペースを確保したり、子どもの動線を予測して環境設定しています。	・引き続き、目的や用途によって適切なスペースの利用をしていけるように努めます。
	②	職員の配置数は適切である	5	8	・今年度より、非常勤職員を増員しています。職員の配置基準としては基準以上の配置をしており、予め出張等で派遣の決まっている日は、療育内容によって非常勤の方の勤務調整もしています。	・療育後の見守り一時支援の利用が増えていることもあり、職員体制をどう工夫していくかは、今後の検討課題です。 ・職員の病休等の急遽の対応については、フォロー体制を組んで行っています。 ・職員の支援力の向上に向けて、研修等を通して行うと共に、より丁寧に親子に関わっていけるような支援体制を整えていけるよう努めていきます。 ・一人ひとりの子どもに丁寧な支援を行っていくためには、今の国(市)配置基準では困難な部分があり、子どもの発達支援をさらに充実させていくために、国や市に対しての要望を上げていきたいと思えます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	1	・1日のプログラムにおける生活空間は、生活面の情報量を整理しながら行っています。	・保護者向けの掲示物なども療育室に多く掲示されているため、子どもに向けた情報の整理や工夫を検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	0	・登園前や降園後に室内やトイレなどの空間の清掃や、玩具の清掃等を行っています。	

業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	6	・子どもの支援については個別支援会議で目標設定をし、実際の支援を進めていく中で、クラス会議等で振り返る機会を持ちながら行っています。	・今年度はOJTとその振り返りの会議も行いましたが、次年度も引き続き実施していく予定をしています。 ・様々な業務がある中で、振り返りや話し合いの時間を十分にちにくくなっていますが、役割分担や業務全体の整理を行いながら工夫をしていきたいと思っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0	・1年に1度、事業所評価を実施し、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げています。 ・保護者からの要望等は丁寧に把握し、工夫できることに関しては対応につなげています。	
	⑦	事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0	・職員会議や朝礼などを通じて職員間のコミュニケーションをとり支援の共有化をはかっています。 ・1年に1度、本結果をホームページにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	7		・第三者による外部評価は、今後の検討課題としています。（以前に厚労省の研究事業の外部評価のトライアルに協力し、結果を職員で共有しました。）
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	・法人全体や施設内での内部研修の実施や、外部で開催される研修に職員が参加できる機会をつくっています。 ・園内での研修のテーマは、療育に関してや子どもの健康・防犯まで幅広く実施しています。	・次年度も引き続き、研修の機会を設けていきます。 ・特に外部研修等は、研修受講後、他の職員に共有できる機会を持っていただけるような工夫を考えていきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	1	・日々保護者と子どものことを話し合い、実際に関わりを持っていく中で、当園でできる支援を目標立てした児童発達支援計画を作成しています。	・児童発達支援計画を作成した後も、新たなニーズなどが出てきた場合には、必要に応じて、計画を見直して作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	2	・園内で発達検査を実施し、職員は子どもの状況を把握するツールの一つとしています。	

適切な支援の提供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	1	・ガイドラインに示されている支援内容から、いま子どもにとって必要な支援を職員間で考えて、計画を作成しています。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	1	・日々の記録は、児童発達支援計画に基づいた確認と支援を行いながら、記録に反映しています。	・会議等で目標や現状を見直ししながら、支援をしていきます。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	2	・各グループのチーフや担任が主となり、活動プログラムを立てています。	・今後も職員間での共有に努めていきます。 ・チーフ、担任、副担任で話し合いを行っているが、十分に時間が取れていない状況もあるため、どんな工夫ができるか検討していきたいと思います。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	1	・当日行ったことを記録し、毎日見直ししながら、活動プログラムを組んでいます。	・子どもやクラスの集団状況を踏まえてあえて固定している部分があれば、柔軟にプログラムを組み立てている部分もあるので、引き続き、子どもやクラスの状況に応じた活動プログラムを意識して組み立てていきます。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13	0		・子ども個々の発達状況を細かく把握するために、活動内容にさらなる工夫をしていきます。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	3	・朝礼で、各クラスの内容や役割分担について確認しています。各クラスの支援内容の詳細は、クラス間での打ち合わせを行っています。行事前には役割分担したり、打ち合わせを行っています。	・行事などの準備で、日々の打ち合わせの時間が取れないことが多いので、時間の使い方や業務分担等の工夫を行ってほしいと考えています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4	9	・振り返りの時間として、毎日持っていないが、必要に応じて話し合いの機会をもちたり、情報共有するように意識しています。	・現状、細やかな振り返りは持てない日もありますが、共有する機会は意識して今後ももってきたいと思います。 ・療育後の動きも含めて、業務の整理と時間の使い方の工夫を検討課題としています。

	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	3	・日々の記録を残し、子どもの状況把握や今後の支援に繋がっています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	1	・新入園児は入園して3ヶ月程度、またそれ以降と進級児は半期を目安にモニタリングを行い、計画の再作成を行っています。また、期間内に子どもの計画の見直しが必要と判断した時点で、再作成を行っています。	
関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	・会議の開催時には、子どもや家族の状況を把握している職員で出席しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13	0	・必要に応じて保健師さん等との連携を行っています。	
	㉓	※医療ケア児	9	1		※現状受け入れはありません
	㉔	※医療ケア児	9	1		※現状受け入れはありません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	1	・保護者に確認した上で、子どもの就園前に、電話や書面等での情報共有などの連携を取らせていただいています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	1	・保護者に確認した上で、子どもの就学前に、電話や書面等での情報共有などの連携を取らせていただいています。また、今年度はアフターケアとして、就学先におうかがいして、相互理解に務めました。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	0	・地域療育センターからの巡回や、助言などを頂きながら、子どもの支援に活かしています。	

との連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	13	・今年度は、さわらび祭の開催で、地域の方（子ども）がさわらび園に足を運んでいただく機会は持つことができました。	・新型コロナウイルス感染拡大前には保育園での交流保育を行っていましたが、この数年は実施ができていません。今後の再開を検討していきたいと思います。
	㉑	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	5	・役割分担として協議会に参加しています。企画内容によっては、担当職員に加えて、他職員も参加しています。	・興味がある職員が参加できるよう、柔軟に対応できる環境を整えていくと共に、取り組み内容を園内で共有する機会をつくっていけるとよいと考えています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保育者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2	・母子療育日には、実際の子どもの姿を観ながら共有しています。	・保護者との共通理解を深めていくために、子どもの状況等を伝え合う機会を更に持てるとよいと感じます。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	9	4	・週に1回母親グループカウンセリングを実施しています。家庭の事情等でカウンセリングへの参加がなかなか難しい方には、個別カウンセリングの機会も設けています。	
保護者	㉔	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0	・入園面接時に、書面にて説明をしています。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	0	・児童発達支援計画作成後、保護者に説明の機会を設けた上で、同意をいただいています。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	・必要に応じて、個別相談の機会を設けています。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	1	・母親の会の開催や、活動の支援をしています。協働して研修会などを行っています。 ・父親には、研修の機会を通して、卒園の父親の会の紹介をするなどして、活動を支援しています。	

への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	・保護者からの相談の申し出があった際や、療育中に必要と判断した際には、体制を整えて随時個別相談を行っています。	・今後も、適宜対応できるよう、努めていきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	・月の予定については、カウンセリングや掲示等を通して伝えていきます。必要に応じてメールなどのツールも使用しています。	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	13	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	・個々の家庭や子どもにとってわかりやすく伝わるよう、工夫をしています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	13	0	・今年度は4年ぶりに地域の方にもお越しいただけるかたちでの『さわらび祭』を開催しました。	・今後、さらに地域を意識した取り組みを行っていききたいと思います。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	0		・現状では、整備中のマニュアルもあるため、整えていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	・火災や地震を想定した訓練を月に1回開催しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0	・研修をおこなったり、てんかん発作のある児童用の対応マニュアルをクラスごとに作成しています。	・入園までに、子どもの疾病について把握します。子どもによっては、発生時の対応マニュアルを作成し、対応できるようにしています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	・対象児については、アレルギー対応表の提出を依頼し、それに基づいて提供を行っています。	・食事提供時は、厨房職員と連携し、対応食の有無についても確認した上で本人に提供を行っていますが、引き続き丁寧な確認を行いながら対応していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	・朝礼で共有しています。 ・事故及びヒヤリハット発生時に、報告書を作成し、職員間での振り返りと再発防止に努めています。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会及び身体拘束等適正化委員会を設置し、職員への研修や意識付けを図る機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内でも、日頃から子どもへの支援や対応について、権利擁護の視点を意識して話し合う機会をつくっていきたいと思います。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、契約時に話をするようにしています。 ・身体拘束については、児童発達支援計画に明記し、保護者の同意サインをもらっています。 	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。